

平成30年度 南希望が丘地域ケアプラザ事業実績評価

平成30年度の評価	
全事業共通	<ul style="list-style-type: none"> ・横浜市基準を満たしています。 ・地域の身近な総合相談窓口として、職種や部門を限定せず幅広く相談を受け、必要な支援・対応を行っています。特に障害分野については、日頃からきめ細かな相談対応や、地道な周知・啓発及び事業実施に取り組んでこられた結果、「障害のことはケアプラザに」という意識が地域に浸透し、相談実績も増加しています。今後も、5職種で連携しながら、ケアプラザ全体で相談に対応する体制を継続して行ってください。 ・高齢者支援、障害児者支援の分野において、地域を巻き込んで幅広く事業を展開することで、地域住民・当事者・事業所など、様々な主体のつながりの輪が広がっています。また、今年度から南希 CP エリア地域防災拠点連絡協議会が発足し、地域住民が防災の視点で障害について学び、考える場ができたことで、より具体的に障害児者を含む地域づくりを我が事として捉え取り組んでいくためのネットワーク構築につながっています。
地域活動交流事業	<ul style="list-style-type: none"> ・横浜市基準を満たしています。 ・個別の相談から共通する課題を見つけ、地域のための事業に展開していくサイクルがしっかりと確立しています。3年目に入った「ふれあい子ども食堂」は、開催頻度を増やすなど事業内容の充実化が図られたことで、子どもと地域の大人たちの関係がより身近なものとなりました。今後も、これまでコーディネーターとして培ってきた経験を活かし、引き続き先進的な取組を進めていってください。
生活支援体制整備事業	<ul style="list-style-type: none"> ・横浜市基準を満たしています。 ・五職種がそれぞれの強みを生かしながら、地域ケアプラザ全体で総合事業・生活支援体制整備事業の推進に取り組んでいます。 ・生活支援、サロン、認知症カフェ、ボランティア育成等に幅広く取り組むとともに、個々の取組をつなげることにより、広がりのある活動へと発展させることができています。
運営事業 地域包括支援センター	<ul style="list-style-type: none"> ・横浜市基準を満たしています。 ・日頃の総合相談業務や個別支援の中で地域の実態把握に努め、地域の課題・ニーズに対して多職種連携や権利擁護、介護予防教室等の事業を幅広く展開しています。 ・生活支援コーディネーターと連携し、様々な視点から事業を検討、展開しています。また、積極的に地域に出向き、顔が見える関係構築に努めています。
<p><評価 (S/A/Bの3段階) ></p> <p style="text-align: center;">A</p>	